

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 3月 16日

【評価実施概要】

事業所番号	1272000116		
法人名	社会福祉法人 旭福祉会		
事業所名	やすらぎ園認知症高齢者グループホームまどい		
所在地	千葉県旭市イの3925番の2 (電話) 0479-63-9011		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	2009年2月19日	評価確定日	2009年3月16日

【情報提供票より】(2008年12月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 12年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算 5.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	11,200 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(200,000円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,380 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2			
年齢	平均 88.1歳	最低	83歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人黒潮会田辺病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は複合福祉サービス施設やすらぎ園の同一敷地内に、9年前に設立された認知症高齢者のグループホームである。建物は木造2階で採光も良く、アットホームな居住空間が出来ている。退去者、入居者入替えは比較的少なく、その分高齢化、重度化は進んでいるが、笑いがある明るい雰囲気的生活環境が作られている。当事業所の入居者に対する生活支援では、美味しく楽しい食事、多様な外出支援、レクリエーション行事、今年度から始めた春の日帰り遠足、リハビリ体操支援等が充実しており、入居者、家族に喜ばれている。また協力医療機関として田辺病院、敷地内の歯科医院など医療連携体制は特筆できるものがある。更に複合福祉サービス施設としての、共通総合イベントや、施設設備の相互活用などによる利点は多大なものがある。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題のうち 運営理念をパンフに明示 同業者との交流の促進は未着手だが、運営推進会議での適切な議案の検討 市当局との協働 面会の少ない家族との情報交換方法 個人情報保護システム 入居者の真の希望の把握 防災対策は全て着手・改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回も外部評価の意義と目的について園長の指導のもとに職員全員で話し合わせ、自己評価は全職員の合議のうえ作成されている。前回の外部評価の改善課題をもとにチーム会議等で改善計画が作成され、取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 当会議には家族代表、地域住民代表、旭市職員の出席を頂き、前回の評価結果から「事業所の力を活かした地域貢献」「運営に関する利用者・家族等の意見の反映」を課題として討議し、改善・実践に繋げている。今後は外部評価の結果報告に留まらず、事業所活動状況や利用者の状況等の議題の追加検討及び開催頻度の検討が望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族からの不満・苦情は苦情相談窓口で受け付けると共に、職員が日々対応をしている。年2回開催している家族会でのアンケート調査の希望や満足度の調査結果と外部評価のアンケート結果は適宜事業運営・サービスに反映されている。面会の少ない家族にもこまめに連絡を取って意見を聞くと共に、最近の状況を伝える職員の努力は評価できる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人が主催する夏の「納涼会」冬の「もちつき大会」などを地域へ開放して地元の人々に参加いただくことで、入居者との交流が図られている。また、市主催の「文化祭の踊り見物」「菊花展鑑賞」、商工会が実施する「七夕祭」などにも積極的に参加したり、民家のイルミネーション見物をしたり、地域のゴミゼロ運動に職員が参加することにより、地域の人々との交流が今まで以上に深められている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p style="text-align: center;">理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>当事業所の重要事項説明書の冒頭に、基本理念として「一人ひとりを大切にしたい質の高い介護サービスの提供」、かつ事業の目的として「認知症によって自立が困難になった方を家庭的な環境の下で、残存能力に応じた自立生活を営むことを可能にすること」が掲げられている。また運営方針として「入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立ったサービス提供に努めます、市町村、地域の保健・医療・福祉サービスと連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます」と明文化されている。理念、方針はわかり易く表現されており、事業所内及び対外的にも周知徹底が図られている。</p>		<p>前回の外部評価で指摘された案内パンフレットへの理念などの未記載については、第二やすらぎ園特養施設開所時期にあわせてパンフレット内容を改訂をする時に記載される計画を着実に実行して欲しい。</p>
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>グループホームまどいの事業計画書冒頭に基本方針として「家庭的な環境の下で、個々の利用者が安心かつ自信をもてるよう、日常生活の支援を行う、利用者の意思及び人格を尊重した利用者本位のサービスを提供する、が明文化されている。毎年度初めの全体会議で理事長から理念及び基本方針の訓示がなされ周知徹底が図られている事が議事録で確認できている。また毎年3月に、管理者、職員全員によってこれらの見直し検討が行われており、共有及びその実践に向けての取り組みが着実に展開されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>法人が主催する夏の「納涼会」冬の「もちつき大会」などを地域へ開放して地元の人々に参加いただくことで、入所者との交流が図られている。また、市主催の「文化祭の踊り見物」「菊花展鑑賞」、商工会が実施する「七夕祭」などにも積極的に参加したり、民家のイルミネーション見物をしたり、地域のゴミゼロ運動に職員が参加することにより、地域の人々との交流が更に深められている。</p>		
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今回も外部評価の意義と目的について園長の指導のもとに職員全員で話し合わせ、自己評価は全職員の合議で行われている。前回の外部評価の結果をもとにチーム会議等で改善案を作成し、実践している。具体的には 運営推進会議での適切な議案の検討（絞られた二議案についての意見の聴取）市担当者との協働機会の活発化 面会の少ない家族への情報交換方法の検討（入居者直接の電話対応や手紙）入居者の真の希望の把握 2階の避難経路の確保（スプリンクラー設置）、が着手・改善されている。課題として パンフレットへの未記載 同業者との交流の促進が持越されている。</p>		<p>新たな改善課題として 運営推進会議での追加議題の提起及び開催頻度の検討、家族会アンケートの質問事項の検討について具体的改善案の作成及び実行を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>20年度の運営推進会議は入居者家族代表、地域住民代表(民生委員)、旭市職員(高齢者福祉課)、のご出席をいただき、7月、11月と2回実施している。当該会議では前回の外部評価の結果報告を行い、その中から「事業所の力を活かした地域貢献」「運営に関する利用者・家族等の意見の反映」について出席者からご意見を拝聴し、サービス向上に活かされている。</p>		<p>今後の運営推進会議における議題として外部評価の結果報告に留まらず、事業所活動状況や利用者の状況等を報告し、意見交換をしながらサービスの質的向上に向けた活発な議論を期待したい。また運営推進会議の開催実績は年2回であったが、省令で2ヶ月に一回以上の開催となっていることから開催頻度の検討が望まれる。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市当局には運営推進会議に出席して頂いている他に、月一度利用者名簿、待機者名簿を届ける機会があり、市担当者との交流が図られている。その他に電話による相談も必要に応じて行われている。また7月に旭市が開催した認知症高齢者グループホーム情報交換会に参加し、他施設との意見交換をするなど、行政との積極的な協働関係作りがうかがえる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族に対する入居者の生活状態や健康状態、金銭管理、事業所情報の報告・連絡は、面会時、随時電話連絡、3ヶ月に一回発行される広報誌「まどい新聞」、年2回の家族会面談にて行われている。面会時には普段の生活の写真を見せてご家族とのコミュニケーションを多くとることを心掛けている。面会の少ない家族には入居者からの手紙郵送連絡の他に直接利用者との電話対応にてこまめに最近の状況を報告する努力がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年2回開催している家族会でアンケート調査を実施し、希望や満足度の調査結果は運営・サービスの参考にされている。外部評価のアンケート結果も運営推進会議で報告すると共に、「本人の思いが理解されているか」、また「本人の行きたい場所に出かけられているか」などについて出席されている利用者家族の意見を聴取し、運営に反映させている。</p>		<p>家族会での現アンケート調査では期待するご家族の意見が十分書かれていない傾向があるとの事だが、記入者が書きやすい様アンケートの質問の仕方の工夫が望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での人事異動（交代回数）は多い方だが、同一敷地法人内の異動のため、入居者にとっては異動後も顔を合わせることが多く、異動の時も受け入れやすくなっている。異動時の引継ぎも所定の引継書、的確な引継ぎ期間を設けて、入居者と新職員が慣れ合える様、配慮されている。職員の離職回避対策も、職員個々の生活環境に配慮し、勤務時間や休日について可能な限り希望に添えるよう話し合いを行い契約をしている。</p>		
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>当事業所の職員の研修機会は、新入職員研修、各委員会併設の内部研修会（毎月）、外部研修会（年3～4回）となっている。外部研修の自己申告による研修チャンスも与えられている。また、受講後には全体会議で研修報告をすることが義務付けられており、研修内容の共有化が図られている。市当局からも当事業所の研修体系は充実しているとお墨付きを頂いており、職員からも好評である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修受講時に同業者の管理者や職員との交流する機会を活用している。また同業者のリーダー研修で当事業所に実習に来た受講者との交流で情報交換の機会を持っている。</p>		<p>今後グループホーム同業者との交流を通じてサービスの質の向上を図るためには、外部研修受講生間の交流機会の活用のみならず、運営者が交流目的を明確にして協同課題研究会開催など、同業運営者への積極的な働きかけをされることを期待したい。</p>
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>グループホームに入所される前に併設のデイサービスを利用したり、ショートステイを活用させながら少しずつ馴染めるよう家族や他部署の職員と情報交換をしながら取り組まれている。また待機者の相談も積極的に受け入れている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者から縫い物や、調理の包丁の使い方、ふきの皮むきなどを教えていただいたり、入居者が得意な塗り絵やジグソーパズル作品作り、今年度から始めた書道、ちぎり絵の共同作成などを通じて、喜びを共にする関係作りが工夫されている。これらのコミュニケーションの中から、利用者の性格等を理解し、日常生活の支援に反映している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の家族にはあらかじめ生活歴や性格、心身の状況を詳しく聞いている。あわせて、おしゃれの好みや園芸・裁縫が得意、踊りが好きなど趣味・嗜好のことも聞きとめて、入居者の希望や意向を把握する参考にしている。入居してからは常に交わっている会話やこまめに行動を観察することによって、一人一人の意向の把握に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>居宅介護サービス計画書の短期目標のケアが行なわれているか否かを、事業所独自のケアチェック表で毎日チェックすると共に介護の内容やその日の様子も記録し、一週間ごとに評価している。介護計画作成に当たっては、ケアチェック表から状態変化や現況を読み取って、居宅介護サービス計画(案)を作成している。家族にはその計画案の考え方と介護内容を説明すると同時に介護の希望や意向を聴取し、これらを踏まえて、ケアマネジャー、看護師、担当者によるチームがカンファレンスを開き、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の現況と介護計画が乖離しないように3ヶ月ごとに入居者全員の介護計画を見直している。体調の変化が著しい入居者については、臨時のカンファレンスを開いて、見直しを行なっている。臨時のカンファレンスを開くまでに至らない入居者の変化の場合はミーティングで確認し、実際の介護で適切な対応がとられている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>事業所の機能を生かして、入居者のかかりつけ医の移送サービス支援や外泊支援、地域の認知症家族の相談の一環として、施設見学に応じている。ただ、同一敷地内に同じ法人が運営するデイサービスやショートステイがあって、地域に柔軟な対応ができていることから、現在は事業所の機能をさらに広げること考えていない。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者のかかりつけ医は医療協力機関の田辺病院になっており、毎日のように医師が事業所に顔を見せて、馴染みの間柄になっている。歯科は同一敷地内にやすらぎ歯科クリニックがあって、通院に至極便利になっている。かかりつけ医以外の診療科目の通院は原則家族対応になっているが、困難な場合は事業所が通院支援を行なっている。きめ細かく密接に連携する医療体制は入居者と家族にとって、大きな安心感となっている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>法人として見取りの指針を定めており、協力医療機関の田辺病院と終末期の連携をとる体制ができている。職員全員も方針や連携体制を理解している。家族には入居のときに見取りの指針を説明して、「重度化した場合における対応の指針同意書」をもらっている。また、終末期には「看取りの介護についての同意書」に改めて同意を得ることになっている。重度化してきて特別養護老人ホームへの入所を希望する入居者・家族の希望に応えられるように、併設の特別養護老人ホームやすらぎ園との連携ができている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者に対する言葉使いや個人情報の取り扱いには「プライバシー保護マニュアル」を作成して、注意を徹底している。朝のミーティングでも園長から入居者の誇りを損ねるようなちゃんづけや他の人にわかるようなトイレ誘導の言葉使いなどしない気配りを徹底している。また、個人情報の保護については事業部別・職位別に知り得る情報のレベル基準が定められており、保護レベルの高い個人情報は限られた職員しか知り得ないシステムが完成している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>介護の標準的なタイムスケジュールはあるが、一応の目安であって、朝の起床から夜の就寝まで入居者一人ひとりのペースを大切にしている。天気がいいので散歩したい、室内で体を動かす風船バレーがしたい、静かに縫い物をしたい、アイロンをかけたいなど入居者の希望にそって支援している。時には家族が入所前の馴染みの床屋や外食に連れて行かれるなど外出を楽しまれている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>併設の特別養護老人ホームで調理されるおらずに、事業所で炊く温かいご飯と味噌汁を職員と一緒に召し上がっている。月に一度は事業所独自のメニューによる自炊の日がある。メニューは料理の本やチラシ広告を見ながら入居者と一緒に決めている。メニューが決まると入居者と一緒に食材を買いに行き、下ごしらえ、調理、配膳、食事、後片付けまで、入居者の力に応じた参加があって、食事を楽しんでいる。また、施設敷地内で入居者がプランター栽培した野菜を食材にするときもある。おやつも7日から10日に一度は入居者と一緒に手作りして、作る楽しみと食べる楽しみを工夫している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週2回から3回午後に入浴している。入浴前には血圧、体温を計測して体調を確認している。入浴の際にはゆずの香りなど好みの入浴剤を入れている。一番風呂にこだわる入居者には早い順番で、ゆっくり入りたい入居者には長めに入浴してもらい、一人ひとりが入浴を楽しむ配慮をしている。入浴を拒否する入居者には無理に勧めず入浴日の変更やむくみのある方には足湯を勧めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は入居者個人個人の生活歴を承知しており、得意なことや興味のあることを理解している。そのうえで入居者が食事前のテーブル拭きやリビングの掃除、また洗濯物をたたむことなどの活力を引き出すことによって、張合いのある日々を送る支援が出来上がっている。歌うことの好きな入居者は併設する特別養護老人ホームの「歌のつどい」に毎週出かけ、園長のピアノ伴奏で、童謡、民謡、歌謡曲を楽しんでいる。月一回、併設のケアハウスで行なわれている体を動かすパドル体操にも参加でき、気晴らしの一つになっている。さらに法人が年間を通して企画実施する敬老会、運動会、餅つき、踊りの会など多彩な行事にも参加して生活を楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常は近くの畑や水田に農作物の生育状況を見に行ったり、ひまわり畑に出かけるなど、気軽に散歩を楽しまれている。自炊の日には自分でおにぎりを握り、近くのスポーツ公園でピクニックを楽しむこともある。また、併設の特別養護老人ホームに来る移動売店に出かけ、買い物を楽しんでいる。家族も付き添い参加する「まどい春の日帰り遠足」も企画され、一日行程の外出も行なわれている。そのほか文化会館での踊りの鑑賞や商工会の七夕祭りにも出かけるなど、気軽に多様な外出ができていることは優れた生活支援ができていといえる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠はせず開放している。常に入居者を見守り、外出したがる入居者は散歩に誘うなど、気配りをしながら、全体の介護をしている。また、事業所から敷地の門までは距離があり、入居者が単独で敷地内を歩行すると顔なじみの併設施設の職員も注意する体制ができています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間計画で定期的に三回の防災避難訓練を実施し、そのうち一回は消防署職員が立会いのもとで行なっている。現在火災に備えて居室やデイルームにスプリンクラーを設置すべく検討中で、近いうちに結論を出すことになっている。また、地元消防団の団員が、台風や大雨のときは駆けつけるなど地域支援の体制が出来上がっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	瀬戸物の食器を使い、箸、茶碗、湯のみは入居者が気に入ったものを購入して、食事を楽しめる工夫をしたうえで、一人ひとりに合わせた食事形態や量を職員間で話し合って支援している。毎月体重測定をして肥満度指数BMIを計算し、食事量を加減したり、体重減の入居者には総合栄養食品で補うなどの配慮をしている。水分が不足気味の場合は牛乳や麦茶で補給している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>朝は雰囲気作りに小鳥のさえずりを流したり、昼食のときはクラシック音楽をBGMとして流すなどしている。居間は吹き抜けになっていて、採光と開放感は居心地のよい空間になっている。また、共用スペースには温度計・湿度計を設置して、温度・湿度の適度な保持や、一日に何回か換気をして空気がよどまないように配慮している。リビングルームには正月飾り、雛人形飾り、七夕飾りなど季節の飾りつけをして居心地の良い空間作りに努めている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が気に入っている筆筒や大切にしている仏壇・位牌を持ち込むなど居心地の良い居室作りに、職員が支援している。また、壁にはお孫さんの成人式の写真や自分の自慢の踊りの写真や行事に参加した時の写真を飾っている。クリスマスには家族と一緒に作ったリースを飾るなど入居者が気に入る空間作りをしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。